

令和7年度 ひととはくの主な事業

令和7年3月

1. 展示事業

館内で開催する主な企画展は下記のとおり。

名称	期間	概要
企画展 価値の手直し展～アップサイクルからみつめるモノと人の豊かな関係～	R7. 2. 15～5. 31	本企画展ではアップサイクルをテーマに、一度価値がないとされたモノでもそれぞれの視点と方法で価値をつける（手直しする）ことができることを紹介します。
企画展 甲虫展—ひとはくコレクションのビートルズ—	R7. 7. 19～R8. 1. 12	みんなのよく知るカブトムシ、テントウムシ、タマムシはすべて甲虫のなかまです。誰もが驚く甲虫の世界をご紹介します。
企画展 DNAってすごい！～自然史研究の大革命～	R8. 2. 1～R8. 5. 31	名前は聞くけどよく知らない。DNAってそんな存在ではないでしょうか。DNAってなあに？から初めて、DNAの分析でわかった生物の意外な真実や、最新の分析技術を紹介します。

2. セミナー事業

- 1) 事前申込制の専門的なセミナーとして下記のセミナーを実施する（全 167 講座）。

分野	セミナーの例	講座数
地球科学	化石発掘体験セミナー、葉の化石を調べよう、六甲山・大阪湾の成り立ちと自然の恵み・災害、化石を調べよう講座、化石の見分け方講座、化石を見つけよう！講座、アンモナイトの断面標本を作ろう、恐竜発掘記、岩石をつくる鉱物を観察しよう、丹波竜を作ろう！、石ころの見わけ方入門、兵庫の恐竜～兵庫五国 太古のいきものたち～、古生物学者への道、脊椎動物化石の研究方法（基礎分類編）、地質ハイキング～六甲山から見る大阪平野～、生きている恐竜の世界～化石でたどる鳥類の進化～	33 講座

植物	芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る（4・9・11月）、被子植物の見分け方、深田公園 春の樹木ウォッチング、植物観察会（春日山：旧柳生街道）、ちいさな押し花標本をつくってみよう！（春編・秋編）、氷ノ山春の植物ハイキング（健脚向け）、植生の見分け方 野外観察と調査実習、六甲山紅葉谷 春の植物・植生ウォッチング、再度公園周辺の樹林で多様性を知る（春）、半自然草原の特徴と現状、植物観察会（春の雑木林：有馬富士）、生物多様性に配慮した地域性種苗による緑化のススメ、植物の系統関係と多様性、宝塚市最明寺の滝のシダをみる、太山寺周辺の樹林で多様性を知る、誰かに話したくなる身近な植物の話、植物観察会（春の形的海岸）、森と土の観察会（再度山編）、コケ植物の見分け方、知れば知るほど変な植物：21世紀のユリ科と日本の野生ユリの謎、植物観察会（武田尾）、草原の担い手養成講座、植物観察会（箕面）、植物観察会（大住寺のサギソウ）、シダの標本づくり、里山林の植物を観察しよう、ささやまの森公園のシダをみる、植物観察会（草甸の植物：逆池）、森と植生の見分け方 野外観察と調査実習、生態学からみた「鎮守の森」、植物観察会（赤穂御崎の海岸）、ニホンジカによる生物多様性の喪失、カヤツリグサ科の見分け方、森林生態学入門	37 講座
昆虫（節足動物）	幼稚園・保育園・小学校の教員・指導者向け「正しい虫の扱い方」、おとなの昆虫教室、節足動物の系統分類学、クモ学入門、甲虫標本を作ろう、カメムシの見分け方	6 講座
動物と生態系	顕微鏡で見てみよう！海の小さな生き物観察会、海洋プランクトンの顕微鏡観察、デンキウオの電気のおしゃべりを聞いてみよう、大沢町で希少淡水魚の観察、香美町 海の生物観察会、生き物の多様なコミュニケーション、動物行動学者の博物館資料活用法（収蔵庫ツアー付き）、ダンゴムシを育てよう、メダカの透明標本作製、海の日特別講座 深海生物への誘い：研究船で探る！海底熱水域動物の生活史戦略、川の水生昆虫観察会（住吉川編）、動物行動学基礎講座、生き物の行動ってどうやって測るの？：動物行動学入門、二枚貝の解剖、河川生態学入門、イカの解剖、動物行動学者の博物館資料活用法（収蔵庫ツアー付き）、DNAから読み解く適応進化と種分化の歴史～トゲウオを題材として～、水を汲めばそこにいる生き物が分かる！？ 環境DNAを使った生物調査	19 講座
環境と地域づくり	稲作文化を体験しよう！～藁苞（わらづと）納豆づくり～、合意形成学入門、おそと遊びでの自然体験導入のヒント、ゲームを使って、みんなで取り組む”まちづくり”、ウミホテルをつかまえよう、絵図や古地図を片手にぶらり。今昔まちあるき（伝法）、五感で楽しむコーヒー焙煎 午前の部、風景の見分け方、神社のみかた・歩きかた「明石の風土とそのレイヤー」、ウド小屋を建てる！～風土的建築が生む風景の再現体験～、絵図や古地図を片手にぶらり。今昔まちあるき（尼崎）	11 講座

その他・ 複合	研究活動支援セミナー～科学論文の読み方入門講座～、 ひとはくアカデミック・ステイ in 但馬（2泊3日）、共 存する小さな渡来者たちーシロツメクサもダンゴムシも 海外からやってきたー、保全遺伝学入門、大学でどんな ふうに自然を学べるの？研究員が中高生の進路の悩みに 答えます、ピカピカ泥だんごを作ろう！、骨について学 ぼう、プラスチック封入標本をつくろう、ジーンファ ーム見学会：遺伝子に配慮した絶滅危惧種保全の現場、 研究活動支援セミナー～科学論文の書き方入門講座～、 地理情報システムを使ってデジタル地図を作成する、新 種を見つける一分類学者の研究ー、兵庫県のいろいろな 生き物～タンポポ・ダンゴムシ・カタツムリなど、未来 に残したい農業や農村の持つ魅力、里山の自然を守ると はどういうことか、ひとはくミッケ！～三田の自然編～、 タンガニイカ湖での調査、軽石のふしぎ、新種はどのよ うに発見されるのか～分類学者の研究について～、妖怪 が息づく地域づくり、DNA情報を用いて、形態で区別が難 しいシダの種類（隠蔽種）を認識する、DNA情報を用いて、 日本列島の森林の歴史的な成り立ちを明らかにする、DNA 情報を用いて、配偶体（前葉体）のみで生き続けるシダ 植物を探索する、シダ植物の見分け方	24 講座
連携活動 グループ セミナー	山野草栽培の基礎講座、春のコケ植物観察会1（道場）、 春のコケ植物観察会2（有馬富士公園）、家族で蜂蜜しば り（5月・6月）、ハチ北高原コケ観察会（1泊2日）、ボラ ンティア活動体験教室（よく飛ぶ紙トンボづくり）、裏 六甲逢山峡の「ヤマアジサイ観察会」、夏のキノコ観察 （フラワータウン・一庫公園）、藍の生葉染め、月のク レーターも見える天体望遠鏡の工作、ミツバチのうんち く（9月・10月）、山野草のコケダマ作り、ハチ北秋のキ ノコ・木の実ツアー（1泊2日）、秋のキノコ観察（有馬富 士公園）、生成A I を利用した植物写真の撮影	18 講座
教職員・ 指導者セ ミナー	初めての生物統計学、ひょうごの化石と地層、小学校の授 業で使える植物の話ー身近な植物を中心にー、森の土の基 礎を学ぶ、動画編集と教材づくり、ピカピカ泥だんごの作 り方、身近な里山の樹木を知る・見分ける、収蔵庫で触れ る 教科書の先の深淵：「花のつくり」と「植物の分類」、 動物行動学入門、動物進化の物語～進化を扱う授業の工夫 ～、水中生物の小さな世界、生物の系統と進化：化石から みる脊椎動物の分類、小学校の授業に役立つ星の話、中高 でできる海洋生物研究ー飼育と実験のコツー、小さな子ど もの指導者向け 身近な植物観察の仕方、SDGsを使って子ど もたちと社会を見つめるー身近な公園に出かけようー、顕 微鏡の使い方 植物編 花粉と気孔の観察、デンデンムシと ダンゴムシ	19 講座

2) その他のセミナー

名称	概要	講座数
特注セミナー	来館団体向けを対象に、相談に応じて実施。	128 講座
オープンセミナー	来館者を対象に、当日参加が可能な小規模なセミナーを随時開催。	135 講座

3. イベント等

名 称	開催日	内 容
Kidsサンデー	毎月第1日曜日（休館中の1,2月を除く）	小さな子どもたちにも楽しめる自然・環境に関する様々なプログラムを実施。
共生のひろば	R8. 2. 11	将来の生涯学習や地域環境保全活動の担い手となるべき人材（地域研究員）を養成し、それらの発表と交流の場として開催。

4. アウトリーチ活動

移動博物館車「ゆめはく」を活用しながら、幼稚園・保育所等を訪問するKids(キッズ)キャラバン、小学校などを訪問する学校キャラバン、公園・公民館など訪問する一般キャラバンを県内数十カ所で実施する予定。

5. 篠山層群化石を活用した地域活性化を目指す人材育成システム構築事業

化石調査・研究過程で必要な発掘及び剖出技術者の育成を図るとともに、地域人材を活用したボランティア等の人材が安定的に育成できる体制づくりを推進する。

1) 石割調査ボランティアの育成

5月、11月に2週間程度の調査を実施予定。令和6年度実績（新規登録16名、累計176名）。

2) 剖出ボランティアの育成

説明会年数回実施予定。令和6年度新規登録3名、累計37名。令和6年度実績（活動累計人数・時間407名・923時間）。

3) 化石専門指導員の育成

認定試験を複数回実施予定。令和6年度実績（累計26名）。

6. 三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営事業

三田市からの委託事業。乳幼児から小学生を対象とした各学習プログラムを企画し、運営する。令和6年度は、週末のイベントの拡充や毎月のクイズなどにより利用者数が増加し、過去にジュニアスタッフを受講した中・高校生もユーススタッフとして活躍している。令和7年度は新規・リピートの利用者数増に力を注ぐとともに、有馬富士公園の管理者や活動団体と連携し、自然の観察がしやすいようセンター周辺の環境の整備、イベントの拡充を進めていく。

7. ふるさと兵庫こども環境体験推進事業（ひょうごエコロコプロジェクト）

兵庫県環境政策課からの分任事業。県内の全幼稚園・保育所・認定こども園等を対象に、乳幼児期の環境学習を支援するため、体験型プログラムや人材育成を実施する。令和7年度は、県内200以上の園に訪問してこどもたちへの体験や園の先生向けの研修を行うほか、地域で持続可能な環境学習を実践するためのネットワークづくりを目的とした県立公園等の県内施設と連携したイベント機会や、地域で共用する貸出グッズの普及など、事業のより一層の浸透を図る。

8. 地域連携セミナーの推進

令和5～9年度の重点事業である地域連携事業の一環として、県内各地の施設や機関などと協働で「地域連携セミナー」（原則、参加費無料）を実施する。令和7年度は、前年度に引き続き南あわじ市とたつの市を開催地とし、それぞれ4件、3件のセミナーを計画している。セミナーの実施を通して、来館が困難な地域の住民への博物館サービスの提供や、地域の拠点施設などとの連携の開拓・強化を図る。

9. 次世代セミナーの推進

自然史が好きで一定以上の知識と関心を持つ中高大生を対象に、3回連続の「DNAから植物の進化を探る」館長セミナーの他、「自然を見分ける」、「自然を読み解く」、「研究技法を学ぶ」と銘打った専門性の高い連続セミナーを開催する。

10. フラワータウンの活性化に向けた屋外プログラムの推進

博物館エントランスホール周辺のオープンスペースでは、遠方からの来館者だけでなく近隣に居住する市民も気軽に参加・交流・滞留できる「そとはく」などの屋外プログラムが実施されている。こうしたプログラムを充実させ、フラワータウンの活性化を目指すとともに、地域に貢献するこれからの新たな博物館

施設の在り方を模索するため、昨年度よりソフトプログラム「ひとはく青空実験室ナンデナン??」を同オープンスペースやコレクションナリウムで実施している。本プログラムは、近年学校教育の場で重視されている「主体的・対話的で深い学び」「探求」などを念頭に、観察、試行、実験などの科学的プロセスを通じ、参加者の“知りたい気持ち”を刺激することを目的とする。具体的には、楽しみながら“深める”、じゃあこれは“なんで?”をキーワードに、普段のオープンセミナーより少し踏み込んで、メカニズムや背景にある原理、多様な視点、研究者の見方・考え方やスキル、未知の領域などを伝えることを意識し、昨年度に引き続き実施する。

